

自彊前進

題字 西村直子

NO. 26 令和5年10月10日(火)

新潟大学附属新潟中学校 学校だより

文責 教頭

※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと
(校歌3番の文言から)

環境整備について

先週6日(金)に整美部の企画で全校除草作業が行われました。学活の時間を活用し、早めに作業を始めたクラスもありました。皆一生懸命作業をしてくれ、いつも環境を整えてくれている学校事務補佐員の大野さんも感謝していました。当日は父母教師会のグリーンボランティアの方々も、校舎前の花壇の植栽と周辺の草取りをしてくださっていました。本当にありがたいことです。



作業されているグリーンボランティアの方々

また、教務室入口にも花が飾られており、2週間に1度花屋さんが取り替えてくださっていますし、熱帯魚の水槽も充実しており、多くの人たちの目を楽しませてくれています。環境が整備されていると気持ちがよくなり、落ち着いたり、優しい気持ちになれたりしますよね。

今回全校除草で司会をした整美部の河内悠誓さんは、次のようにねらいを話してくれました。

『みんなで心をつにし、整備の心を大切にしてもらいたかったので企画しました。日々の清掃を見ているときれいにするをあまり楽しんでいないと感じています。清掃はあまり好きじゃない人が多いと思うけれども、今回の取組を受けて、結果的に学校をきれいにするを楽しんでもらえるようになったら嬉しいです。』

彼の想いに応えるように、皆とても一生懸命に作業をしていました。

生徒会には整美部があり、各学級にも整美係があるかもしれませんが、『環境整備』とは言いますが、『環境整美』とは言いません。『整備』と『整美』には次のような意味があるようです。

『整備』・・・整えそなえること。すぐ役立つように、準備、装備、機能などを整えること。
準備が整っていること。

『整美』・・・細かいところまで行き届いて美しいこと。純粹で美しいこと。

とあります。例えば、各学級で黒板のチョークは揃っているか、黒板消しはきれいに保たれすぐに使える状況になっているか、また、教室後方の掲示物について、全員同じプリントが掲示されているか(最新のもの、タイムリーなものが掲示されているか)、といった点では、『整備』になります。一方、机が縦横しっかりと揃っているか、掲示物が四隅しっかりと画鋏で止められているか、ロッカーの上に私物が乗っていないか、等は『整美』になるでしょう。

校則の少ない当校ですが、「生活の心得」の『6. 清掃』には、『(2) 身の回りを常に清潔にし、校内外の美化に努める。』とあります。今回の全校除草作業は、『行事』的な要素が強いですが、『校内外の美化に努める』ことは『日常活動』そのものです。日頃の清掃活動や各学級の整備や整美がなされているかがカギになります。それらができてこそ真の附中生ですね。河内さんの言葉のように、整備(整美)の心を、今後の生活に生かしていきましょう。

～当日の様子～

